



取付説明書

TOYOTA ALPHARD *MNH10W*
MNH15W

BLITZ

[1]安全上のご注意

■ はじめに

- ・ この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。
- ・ キットの構成部品はパーツリストに記載してあります。取り付け前に異品・欠品の無いことを確認してください。

■ **警告**

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・ バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。
【二柱式リフトをお勧めします】
やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジトラック(馬、安全スタンド)を併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わないでください。

■ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷また中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・ この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・ この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり強いショックを与えないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちる場合があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適当な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

■ 重要事項

- ・ この製品はノーマル車輛を基準に製作されています。
ノーマル車輛以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について保証いたしかねます。
- ・ 製品装着時は、異物が混入しないよう、十分に注意をしてください。
異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでからおこなってください。
整備要領書がお手元にはない場合はメーカーにてご購入ください。
- ・ 走行前には、オイル・冷却水・排気ガス等の漏れがないか点検を行ってください。
漏れのある状態での走行は、車輛火災やエンジン破損等の恐れがあり危険です。
- ・ このキットはハイオクガソリン指定となります。
レギュラーガソリンを使用しますとノッキング等を発生させ、最悪の場合エンジン破損の原因になる場合がありますので、必ずハイオクガソリンを使用してください。
燃料タンクのカソリン入れ換え作業は危険を伴いますので、特に火気に注意してください。
- ・ 本キットを取り付ける際は必ず点火プラグを熱価の高いものに交換してください。
- ・ 本キット内部品の加工・分解・改造は絶対に行わないでください。
場合によっては燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 本キット以外の部品の取り付け(点火プラグ以外)は絶対に行わないでください。
純正交換タイプのエアクリーナー、弊社製むき出しタイプのエアクリーナー、及び弊社製マフラーの取り付けに関しては問題ありませんが、その他の部品(弊社製品も含む)の取り付けは絶対に行わないでください。
場合によっては燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原因になる場合があります。

【作業の方へお願い】

作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

作業にとりかかる前に必ず下記の点を点検してください。

■純正のホースやバンド等の部品に変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら純正品の新品に交換してください。

〔2〕適合車種

車 名：TOYOTA ALPHARD

型 式：MNH10W / MNH15W

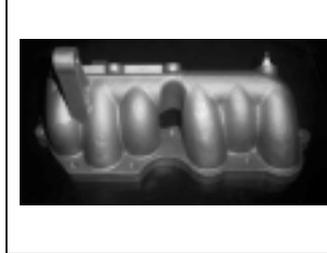
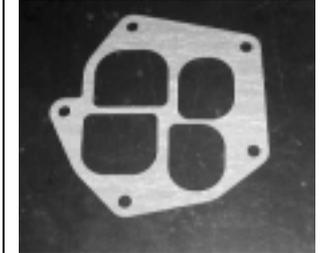
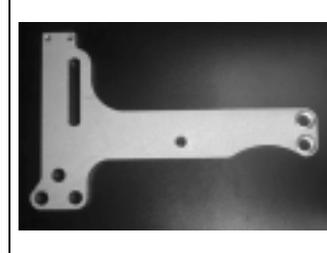
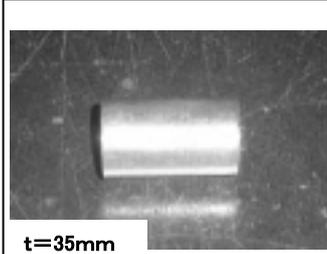
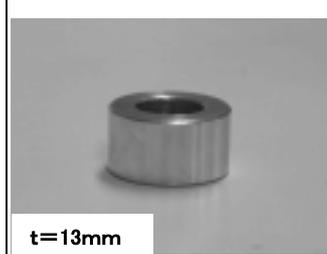
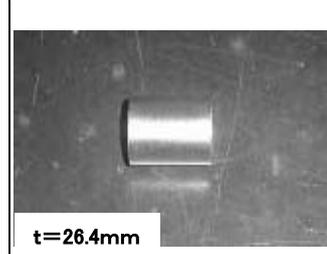
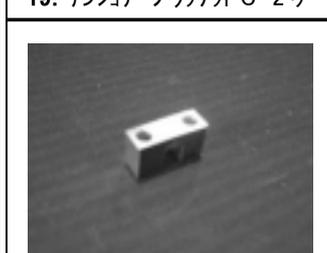
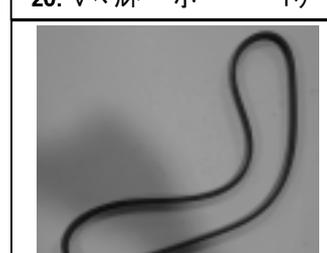
E/G型式：1MZ-FE

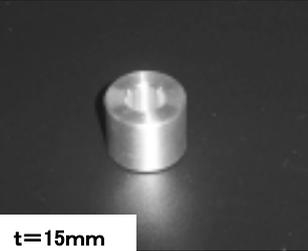
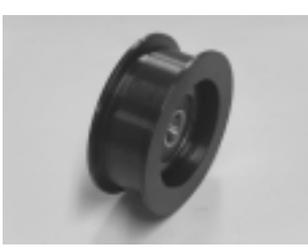
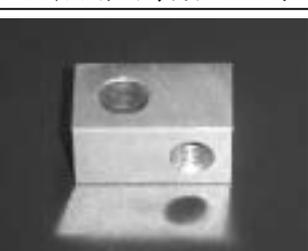
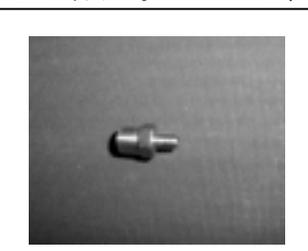
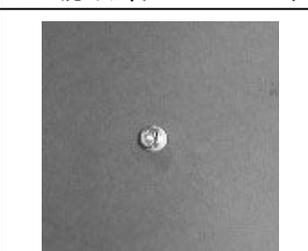
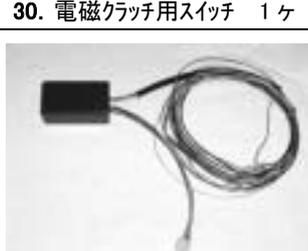
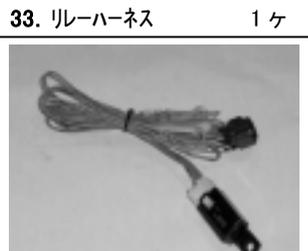
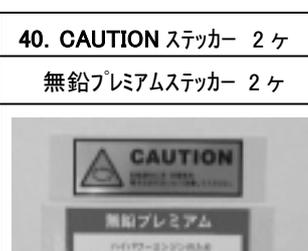
年 式：2005年4月～

製品番号：10169

製品名称：BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

パーツリスト

<p>1. コンプレッサー本体 1ヶ</p> 	<p>2. ガasket 2ヶ</p> 	<p>3. インテークマニホールド 1ヶ</p> 	<p>4. インレットチャンバー 1ヶ</p> 
<p>5. インマニガasket 1ヶ</p> 	<p>6. スロットルガasket 1ヶ</p> 	<p>7. ブラケット(アイドラー) 1ヶ</p> 	<p>8. テンショナーブラケット A 1ヶ</p> 
<p>9. ブラケット(ベアリング) 2ヶ</p> 	<p>10. テンショナーブラケット B 1ヶ</p> 	<p>11. プーリー(SCドライブ) 1ヶ</p> 	<p>12. プーリー(アイドラー) 1ヶ</p> 
<p>13. カラー(アイドラー) 1ヶ</p> 	<p>14. カラー(ブラケット) 3ヶ</p>  <p>t=35mm</p>	<p>15. カラー(テンショナー)A 1ヶ</p>  <p>t=13mm</p>	<p>16. カラー(テンショナー)B 1ヶ</p>  <p>t=26.4mm</p>
<p>17. ホルト(テンショナー)B 1ヶ</p> 	<p>18. ブラケット(リテーナ) 1ヶ</p> 	<p>19. テンショナーブラケット C 2ヶ</p> 	<p>20. Vベルト 小 1ヶ</p> 

<p>21. Vベルト 大 1ヶ</p> 	<p>22. カラー(ソレノイドステー) 6ヶ</p>  <p>t=15mm</p>	<p>23. プーリー(テンショナー) 2ヶ</p> 	<p>24. ホルト(テンショナー)A 1ヶ</p> 
<p>25. テンショナーブラケットD 1ヶ</p> 	<p>26. ニップル 大 2ヶ</p> 	<p>27. ニップル 小 2ヶ</p> 	<p>28. 沈みプラグ 1ヶ</p> 
<p>29. アジャスターボルト 2ヶ</p> 	<p>30. 電磁クラッチ用スイッチ 1ヶ</p> 	<p>31. スイッチコントローラー 1ヶ</p> 	<p>32. スイッチ用プレート 1ヶ</p> 
<p>33. リレーハーネス 1ヶ</p> 	<p>34. フューエルコントローラー 1ヶ</p> 	<p>35. ゴムキャップ 1ヶ</p> 	<p>36. コルゲートチューブ 1ヶ</p> 
<p>37. タイラップ 大・小 各 10</p> 	<p>38. キボシ・エレクトロタップ</p> 	<p>39. コンプレッサープレート 1ヶ</p> 	<p>40. CAUTION ステッカー 2ヶ 無鉛プレミアムステッカー 2ヶ</p> 

41.取り扱い説明書 1ヶ



①キャップボルト M6×15 2ヶ

②キャップボルト M6×25 4ヶ

③キャップボルト M10×20 5ヶ

④キャップボルト M10×125 1ヶ

⑤フランジボルト M6×16 4ヶ

⑥フランジボルト M6×20 6ヶ

⑦フランジボルト M8×50 6ヶ

⑧六角ボルト M10×50 2ヶ

⑨六角ボルト M10×60 3ヶ

⑩フランジナット M10 4ヶ

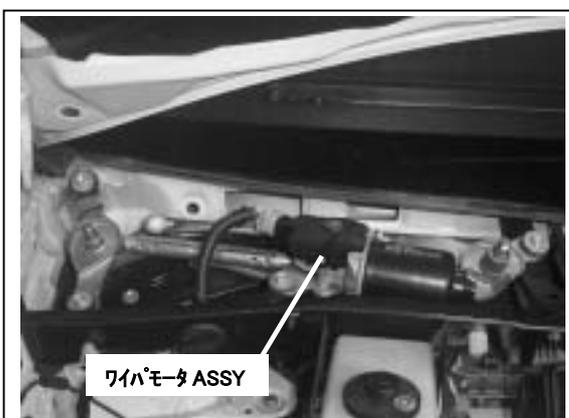
⑪M8 ワッシャー 1ヶ

⑫M10 ワッシャー 12ヶ

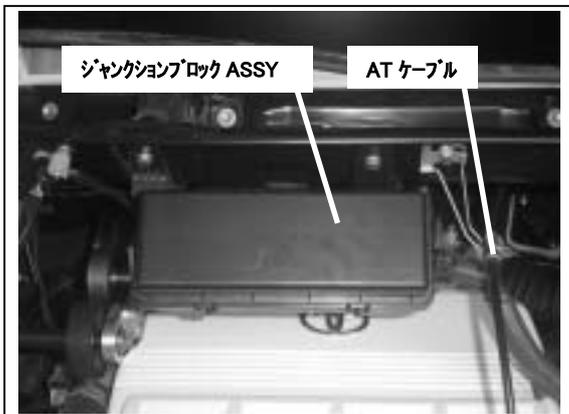
[4]純正部品取り外し作業



- (1) バッテリーマイナス端子を取り外す。
- (2) キャップを取り外し、フロントワイパー RH/LH を取り外す。
- (3) カウルトップベンチレーターを取り外す。



- (4) ワイパーモーター ASSY を取り外す。



- (5) ジャンクションブロック ASSY を取り外す。
- (6) AT ケーブルをステーより取り外す。



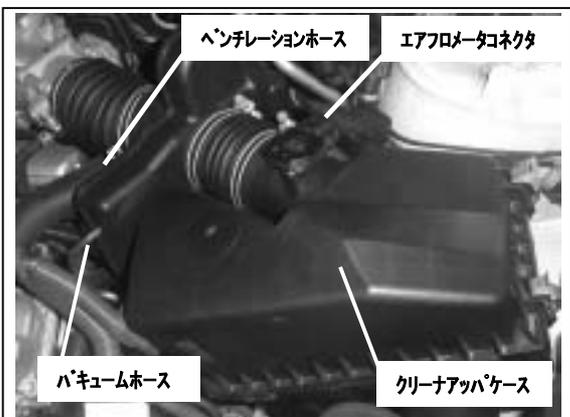
- (7) ブレーキマスターシリンダリザーバを取り外す。
* ブレーキフルードは抜かずに、作業の妨げにならない所へ移動しておきます。



(8) カウルトップ取り外し。

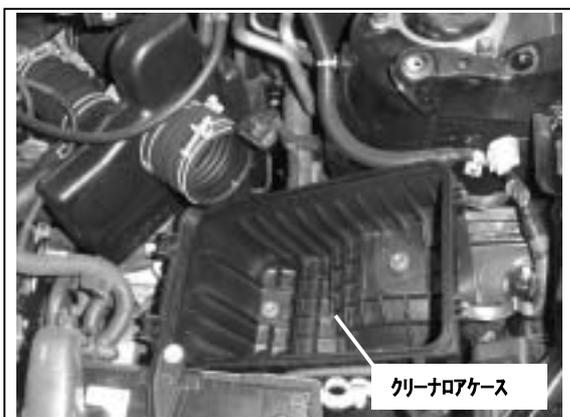


(9) Vバンクカバーを取り外す。

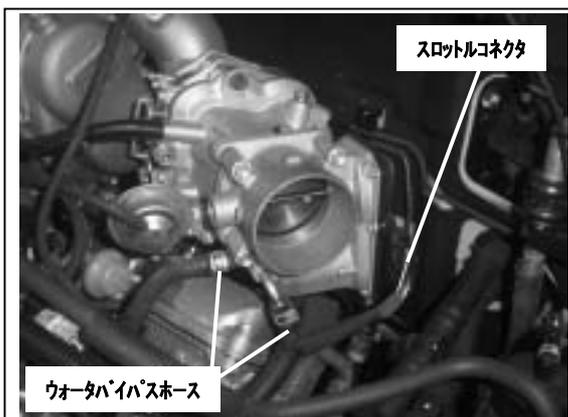


(10) インテークエアフロメータコネクタを取り外す。

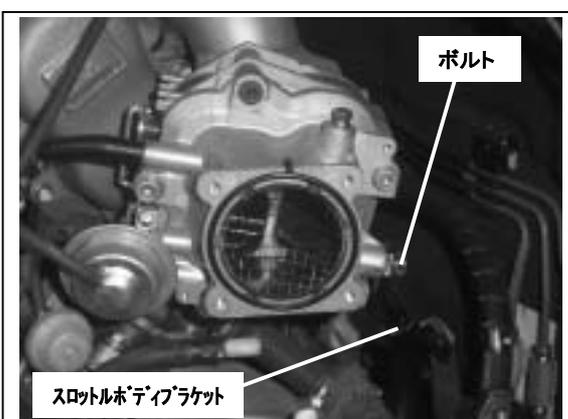
(11) バキュームホース、ベンチレーションホースを取り外し、エアクリーナアップケース、及びサクシジョンホースを取り外す。



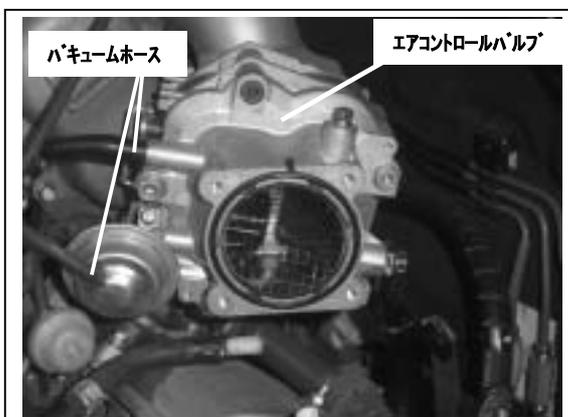
(12) エアクリーナロアケースを取り外す。



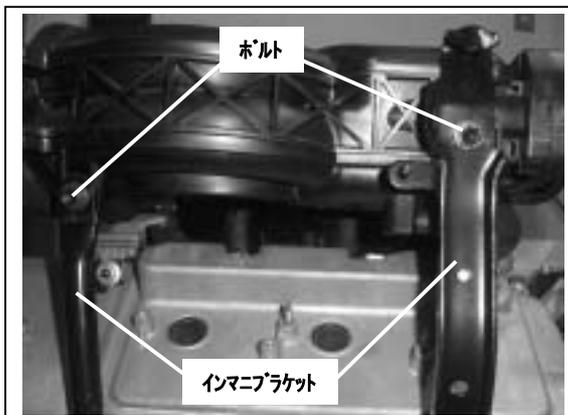
- (13)ウォーターバイパスホース2本、スロットルコネクタを取り外す。
 (14)ボルト4本を取り外し、スロットルボディASSYを取り外す。



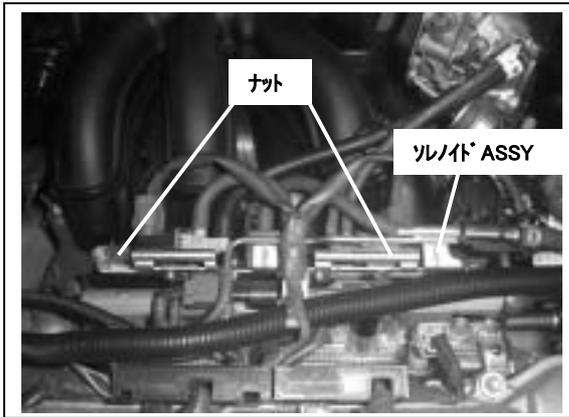
- (15)ボルトを取り外し、スロットルボディブラケットを切り離す。



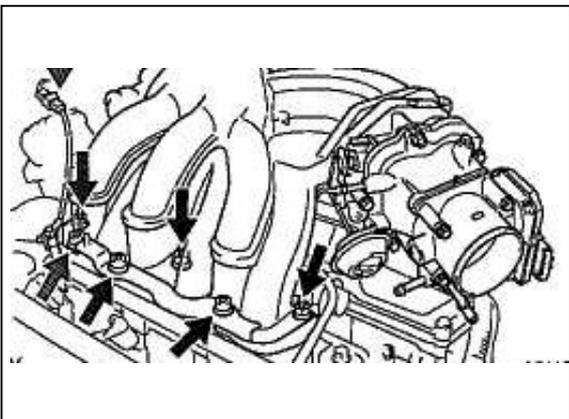
- (16)バキュームホース2本を切り離す。
 (17)ボルト、ナットを取り外し、エアコントロールバルブを取り外す。
 *スタッドボルトは、後で使用しますので、インテークマニホールドから取り外して下さい。



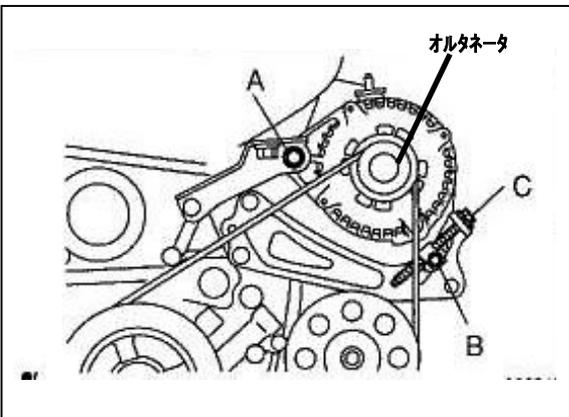
- (18)ボルトを取り外し、インマニブラケットよりインテークマニホールドを切り離す。



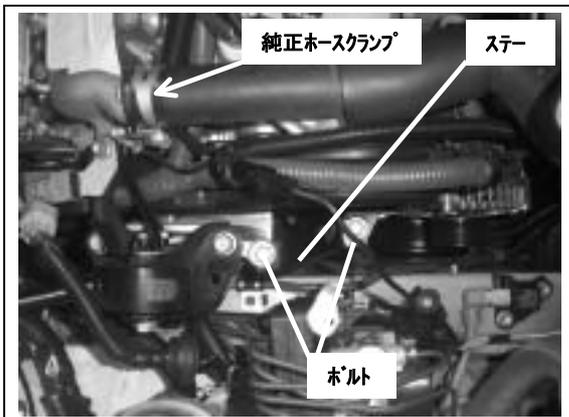
(19)ナット2個を取り外し、ソレノイドASSYを取り外す。



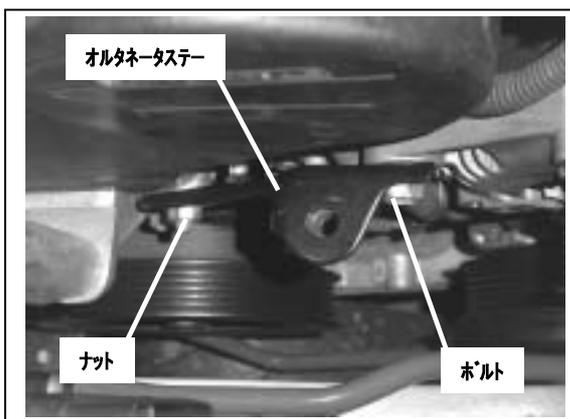
(20)ナット2個、ボルト4本を取り外し、インテークマニホールドを取り外す。
 * ブローパイプ、ブレーキブースターホース、バキュームホースを忘れずに取り外して下さい。
 * 外したホースは、全て車両側へ残します。



(21)オルタネータのボルト A を取り外し、ボルト B をゆるめる。
 (22)アジャストボルト C を回し、V ベルトの張力をゆるめ、V ベルトを取り外す。



(23)ボルト2本を外し、左図のステーを取り外す。
 ※キットとの干渉の恐れがある為、ラジエターホースのクランプを、左図のようにつまみ部分が横方向へなるよう回転させる。

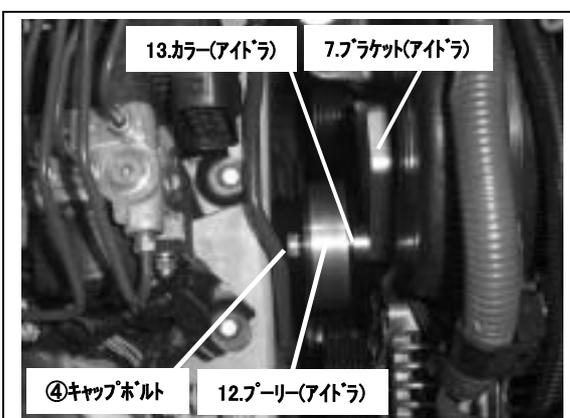


(24)ボルト、ナットを取り外し、オルタネーターを取り外す。

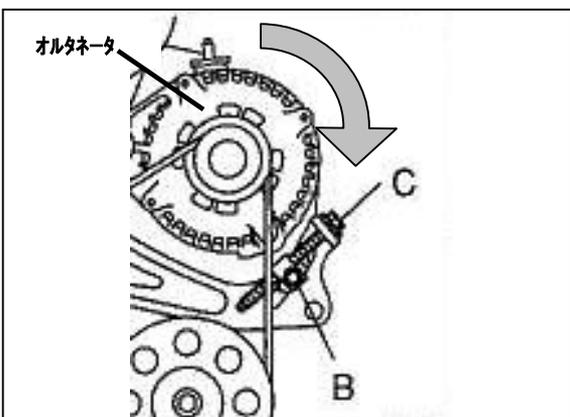
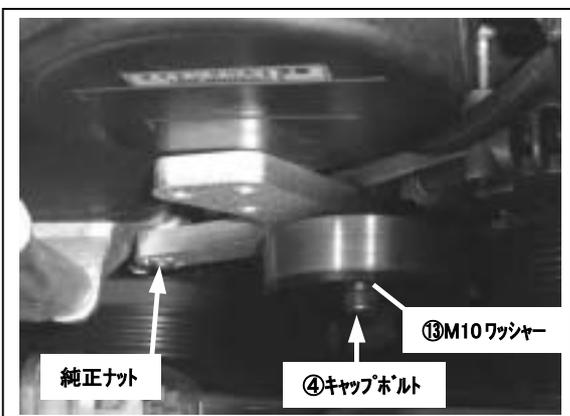
〔5〕コンプレッサーキット取り付け作業。



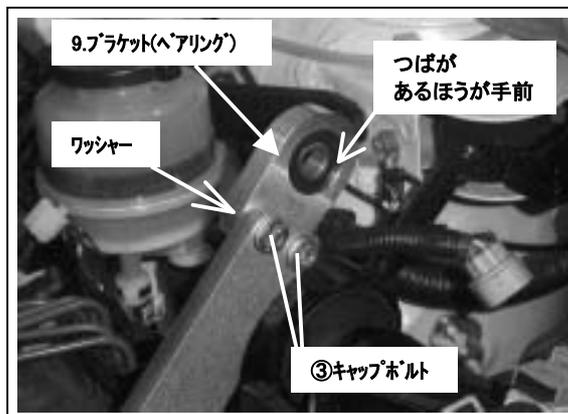
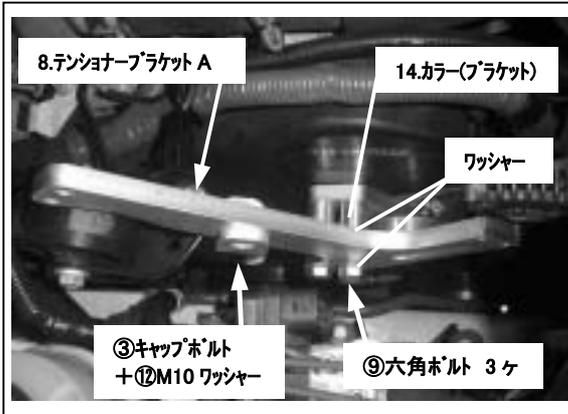
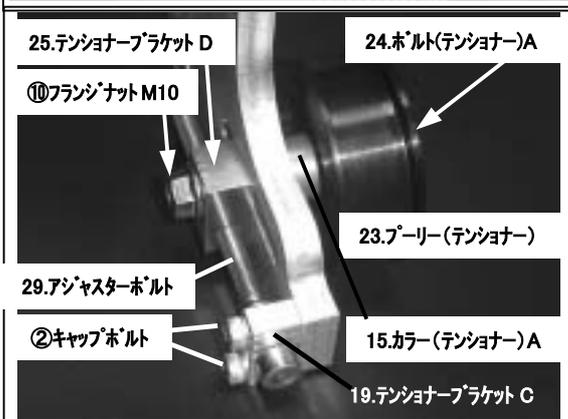
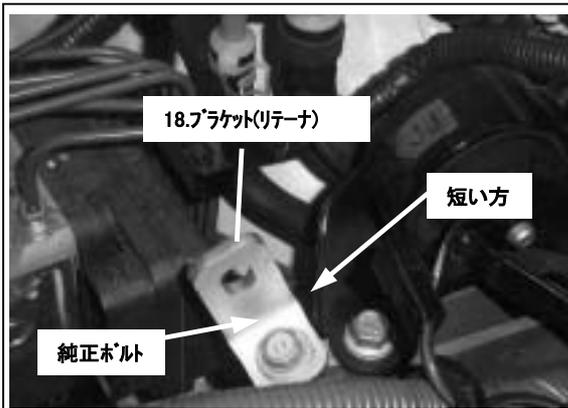
- (1) オルタネータステーを外したスタッドボルト部へ、⑪M8ワッシャー 1ヶを取り付ける。



- (2) ④キャップボルト M10×125 に、⑫M10ワッシャー、12.プーリー(アイドラ)、13.カラー(アイドラ)、7.ブラケット(アイドラ)を通し、左図のように取付ける。
*スタッドボルトには純正ナットを使用する。



- (3) アジャスティングボルトCを回し、オルタネータを矢印の方向へ動かす。
T=18N. m
- (4) (2)で取り付けした純正ナット、④キャップボルト M10×125 を、一度本締めする。
T=28N. m(純正ナット)
T=58N. m(M10ボルト)



(5) 純正ボルトを使い、18.ブラケット(リテーナ)を左図のように仮付けする。
* ステーの長さが短い方をエンジン側にして下さい。

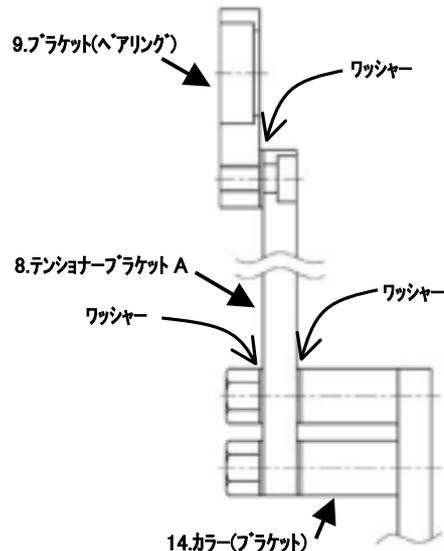
(6) 25.テンショナーブラケット D、29.アジャスターボルト、19.テンショナーブラケット C、②キャップボルト M6×25 2ヶ、24.ボルト(テンショナー)A、23.プーリー(テンショナー)、15.カラー(テンショナー)A、⑩フランジナット M10 を、8.テンショナーブラケット A へ左図のように取り付ける。

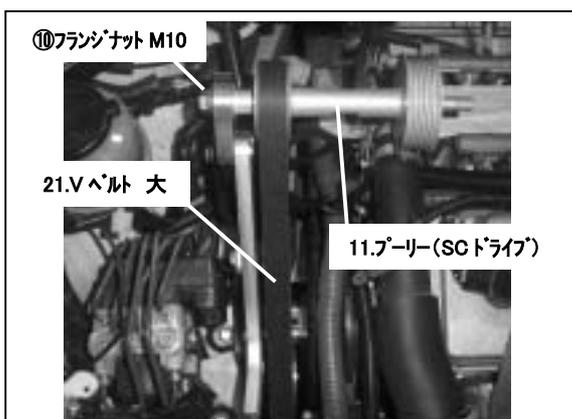
T=10N. m(M6)

(7) ⑨六角ボルトM10×60 3ヶ、⑫M10 ワッシャー 6ヶ、14.カラー(ブラケット) 3ヶを使い、8.テンショナーブラケット A を左図のように仮付けする。M10 ワッシャーは、M10 ボルト頭側とカラー側両方に各 1 枚ずつ挟みます。(下図参照)

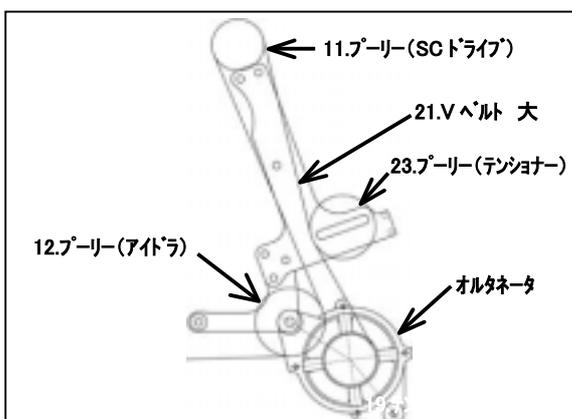
(8) ③キャップボルト M10×20 1ヶ、⑫M10 ワッシャーを使い、18.ブラケット(リテーナ)と8.テンショナーブラケット A を仮付けする。

(9) ③キャップボルト M10×20 2ヶ、⑫M10 ワッシャー 2ヶで、9.ブラケット(ベアリング)を左図のように仮付けする。
* ベアリング圧入部分につばがある方が、8.テンショナーブラケット A 側になります。M10 ワッシャーはブラケットの間へ挟みます。(下図参照)

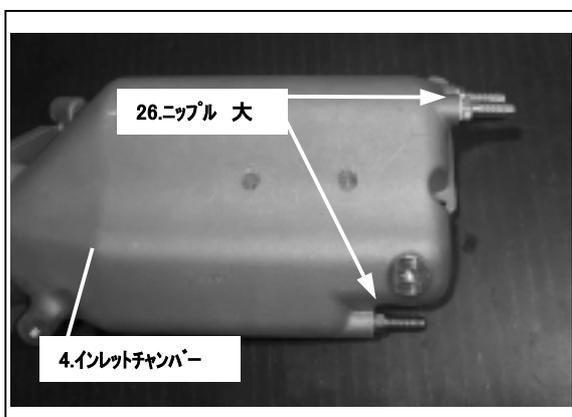




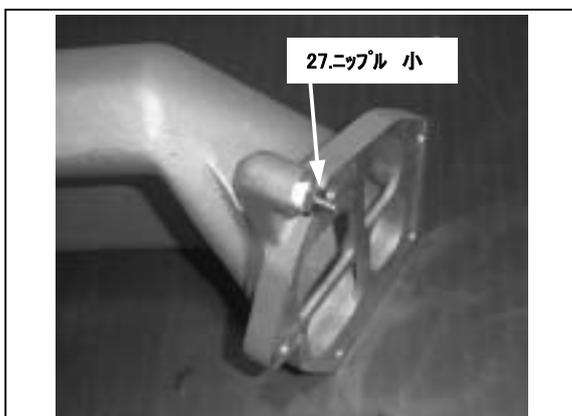
(10)21.Vベルト 大を 11.プーリー (SCドライブ)の径の小さい方へ掛け、9.ブラケット (ベアリング)に通し、⑩フランジナットM10で仮付けする。



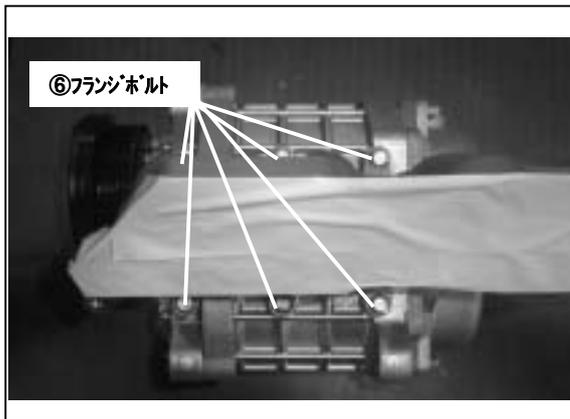
(11)21.V ベルト 大の取回しは、左図を参照してください。



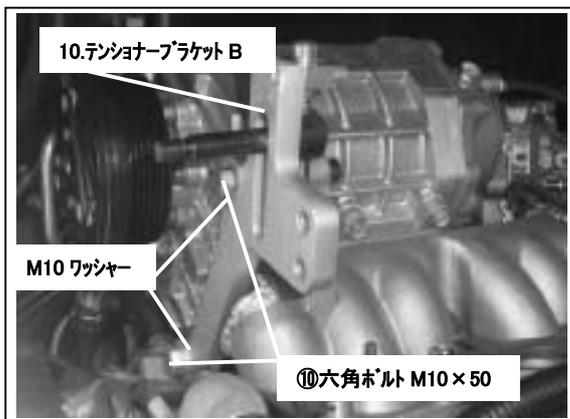
(12)4.インレットチャンバーへ 26.ニップル 大 2ヶを取り付ける。
* 必ずシールテープ等を使用して下さい。
* 左図ではニップルを3ヶ使用していますが、実際は2ヶ使用します。



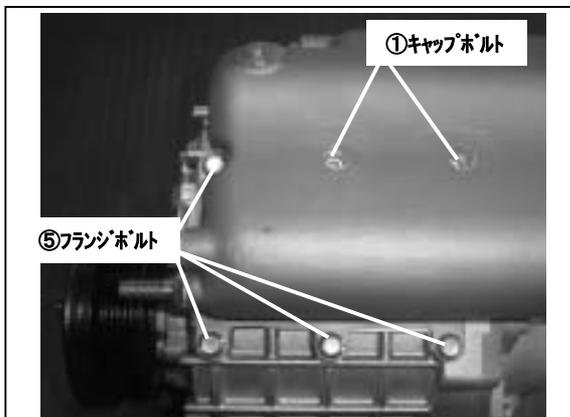
(13)4.インレットチャンバーへ、27.ニップル 小 1ヶを取り付ける。
* 必ずシールテープ等を使用して下さい。



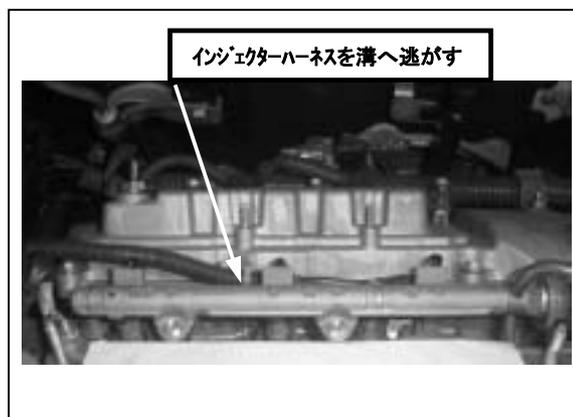
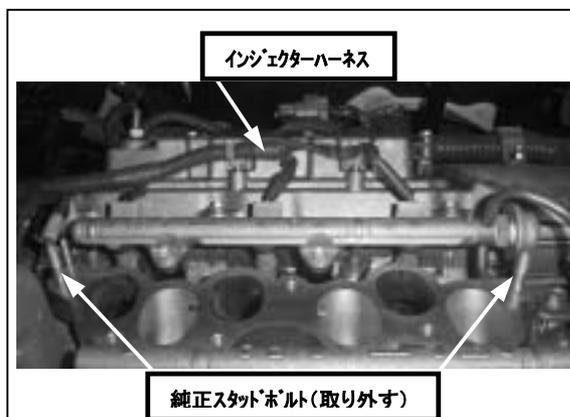
- (14)⑥フランジボルト M6×20 6ヶで、3.マニホールドを、1.コンプレッサー本体へ仮付けする。
 * 忘れずに 2.ガスケットを挟んで取り付けて下さい。
 * ガスケットを取り付ける際、必ず液状ガスケットを併用して下さい。
 併用しない場合、エア漏れの原因となる可能性があります。

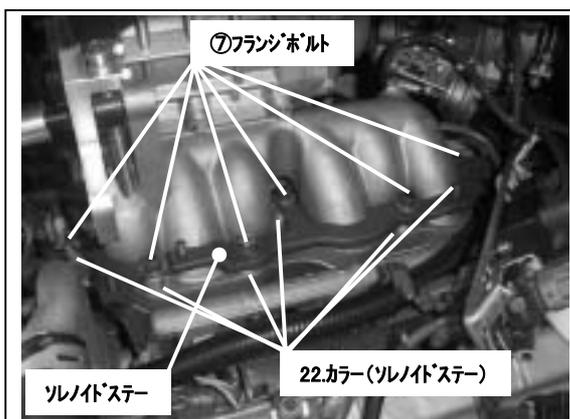


- (15)⑧六角ボルト M10×50 2ヶ ⑫M10ワッシャー 2ヶ、10.テンショナーブラケット B を左図のように仮付けする。
 * この時点ではまだ SC 本体はエンジンには搭載しません。

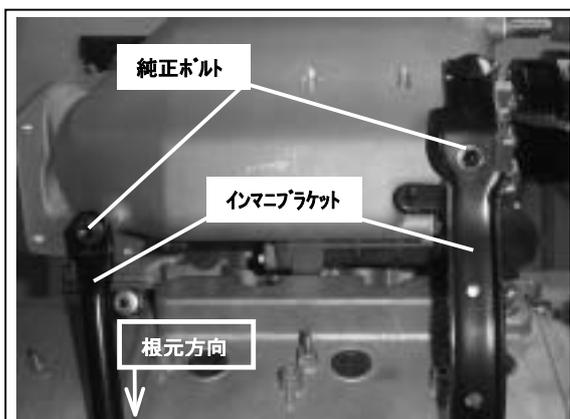


- (16)①キャップボルト M6×15 2ヶ、⑤フランジボルト M6×16 4ヶで、4.インレットチャンバーを 1.コンプレッサー本体へ仮付けする。
 * 忘れずに 2.ガスケットを挟んで取り付けて下さい。
 (17)純正のスタッドボルト(M8)2ヶを取り外す。
 (18)インジェクターハーネスをずらす。
 ハーネスの固定を外し、バンクの溝へ落とすようにハーネスをずらす。





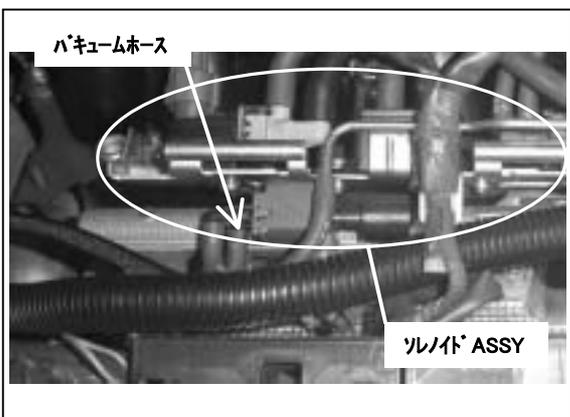
- (19) 5.インマニガスケット、22.カラー(ソレノイドステー) 6ヶ、⑦フランジボルト M8 × 50 6ヶで、インマニASSYを左図のように車両へ仮付けする。
 * 5.インマニガスケットを忘れずに使用して下さい。
 * 22.カラー(ソレノイドステー)は、ソレノイドステーの下へ挟みます。



- (20) 純正ボルトを使用し、インマニブラケット 2本を仮付けする。
 ※インマニブラケットの穴位置が合わない場合、インマニブラケット根元(エンジン側)のボルトを緩め、位置調整を行って下さい。

- (21) ⑦フランジボルト M8 × 50 を本締めする。

T=28N. m

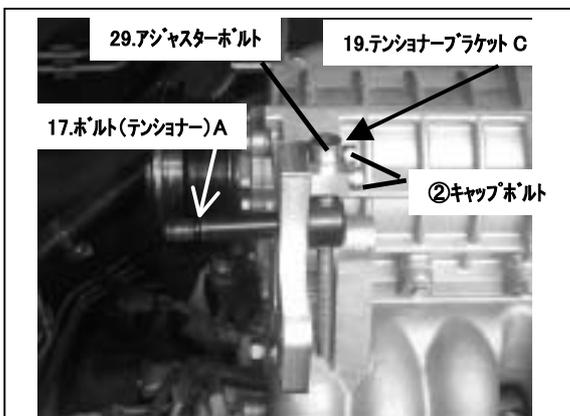


- (22) 純正ナット 2 ヶで、ソレノイド ASSY を取り付ける。

T=10N. m

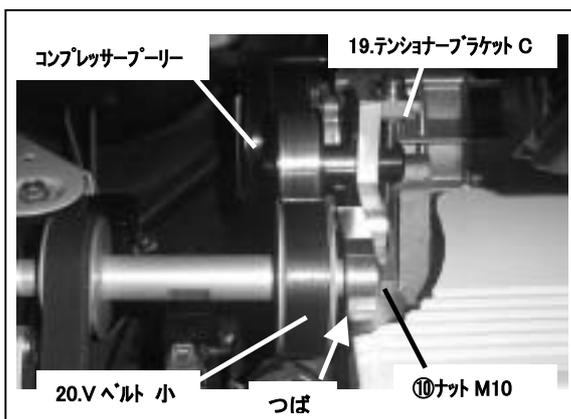
- (23) 左図のパキュームホースを取り外し、35.ゴムキャップで塞ぐ。

* タイラップ等で抜け防止をして下さい。



- (24) 17.ボルト(テンショナー)B、19.テンショナーブラケット C、29.アジャスターボルト、②キャップボルト M6 × 25 2ヶを左図のように取り付ける

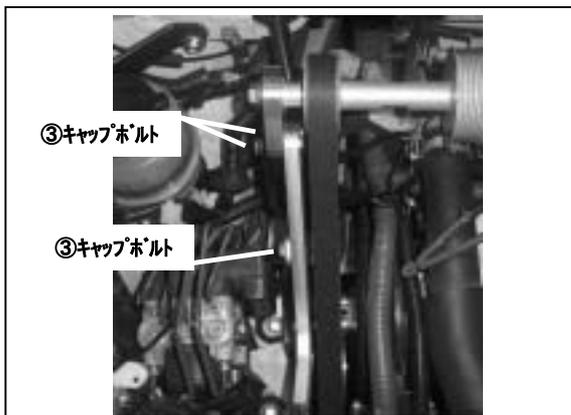
T=10N. m(M6)



(25)20.Vベルト 小を、11.プーリー(SCドライブ)、及びコンプレッサープーリーへ掛ける。

(26)9.ブラケット(ベアリング)を 11.プーリー(SCドライブ)へ通し、⑩フランジナット M10 で仮留めする。

ベアリング圧入部につばがある方がプーリー側になります。



(27)P15(10)、P18(25)で仮付けした 11.プーリー(SCドライブ)両側のフランジナットM10を本締めする。

$T=35N \cdot m$

(28)P14(8)で仮付けした 8.テンショナーブラケットの 9.六角ボルト 3ヶを本締めする。

$T=35N \cdot m$

(29)P14(9)で仮付けした③キャップボルト M10×20 2ヶ、P14(8)で仮付けした③キャップボルト、純正ボルトを本締めする。

$T=35N \cdot m$



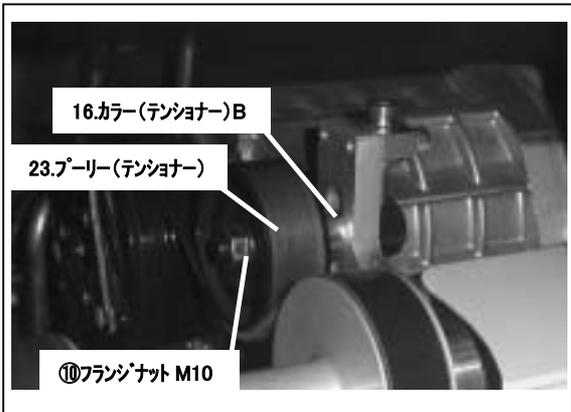
(30)11.プーリーSCドライブと 9.ブラケット(ベアリング)が垂直になる様に位置調整を行い、P16(15)で仮付けした⑩の六角ボルト 2ヶ、を本締めする。

$T=35N \cdot m$

最後に、③キャップボルト M10×20 2ヶで、9.ブラケット(ベアリング)と 10.テンショナーブラケット B を留めます。

$T=35n \cdot m$

※ブラケットとプーリーが平行にならない場合は(28)、(29)で締めたボルトを緩め、再度調整して下さい。



(31)16.カラー(テンショナー)B、23.プーリー(テンショナー)、⑩フランジナット M10 の順に、17.ボルト(テンショナー)A へ通し、仮付けする。



(32)ブローパイプを左図のように取り付け。
付ける。

(33)純正部品取り外し作業(17)で取り外したスタッドボルトを、4.インレットチャンバーの純正と同じ位置へ取り付け。

(34)6.スロットルガスケットを使用し、同じく純正部品取り外し作業(17)で取り外したエアコントロールバルブを、純正のボルト、ナットで取り付け、外したバキュームホースを取り付ける。

T=20N. m

(35)純正ボルトを使用し、スロットルボディブラケットを仮付けする。

(36)P16(16)で仮付けした①キャップボルト M6×15 2ヶ、⑤フランジボルト M6×16 4ヶを本締めする。

T=10N. m

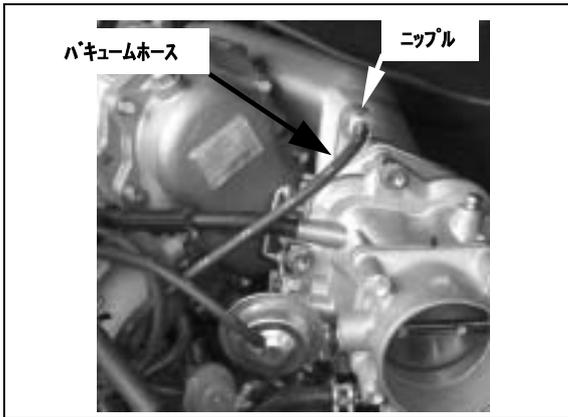
(37)P17(19)、P19(33)で仮付けした、インマニブラケット 2箇所、スロットルボディブラケット1箇所のボルト3本を本締めする。

T=20N. m



(38)ブレーキブースターホースを、4.インレットチャンバーのニップルへ繋ぐ。

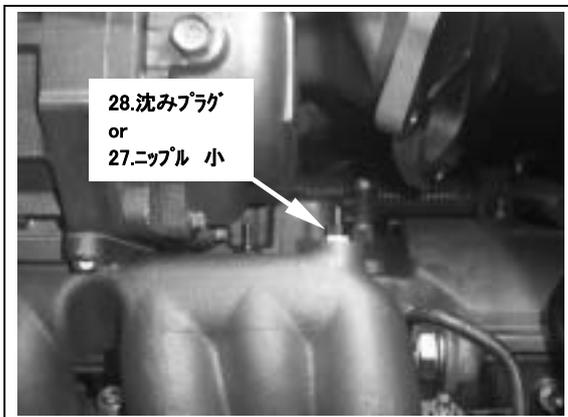
* 純正のクリップを使用して留めます。



(39)純正のインテークマニホールドから外したバキュームホースを、4.インレットチャンバーのニップルへ繋ぐ。

(40)純正ボルト 4本を使用し、スロットルボディASSYを取り付ける。
T=20N. m

(41)ウォーターバイパスホース 2本を取り付ける。



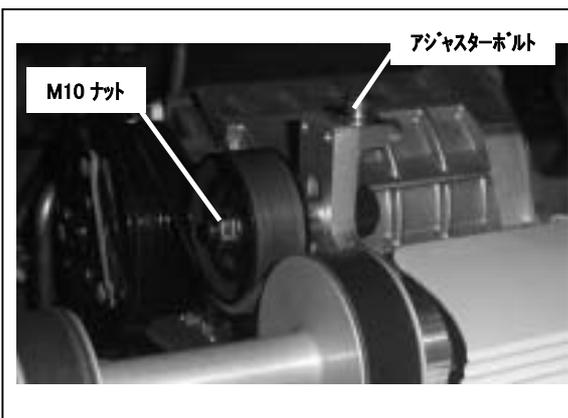
(42)3.マニホールドへ、28.沈みプラグ、ブースト計を取り付ける場合は、27.ニップル 小を取り付ける。

(43)エアクリーナロアケースを取り付ける。

(44)エアクリーナアッパケース、及びサククションホースを取り付ける。

*バキュームホース、ベンチレーションホースを忘れずに取り付けて下さい。

(45)インテークエアフロメータを取り付ける。



(46)29.アジャスターボルトを回し、ベルトの張りを調整する。

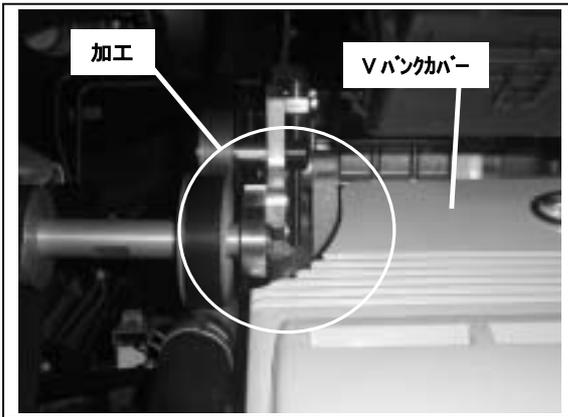
	新品時	点検時
張力[N]	450~550	300~390
たわみ量[mm]	8~10	11~14

M10ナットを本締めする。

T=35N. m

(47)8.テンショナーブラケット A のテンショナープーリーも同様に、29.アジャスターボルトを回し、ベルトの張りを調整し、M10ナットを本締めする。

T=35N. m

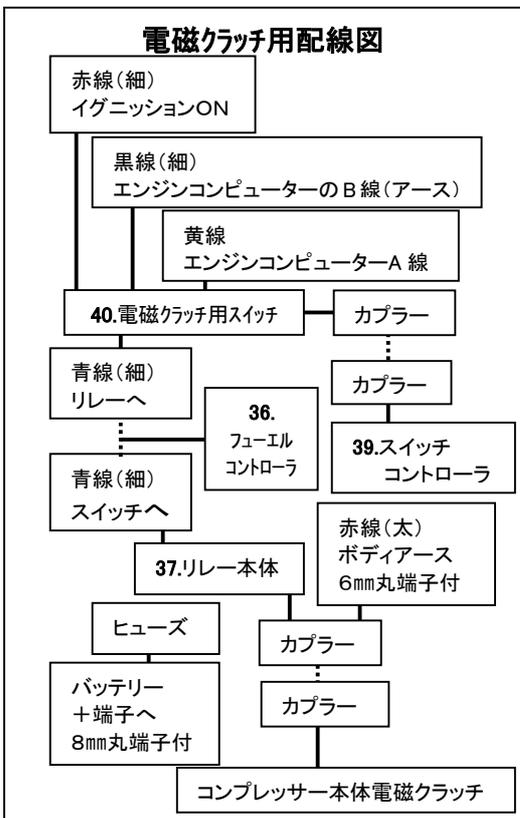


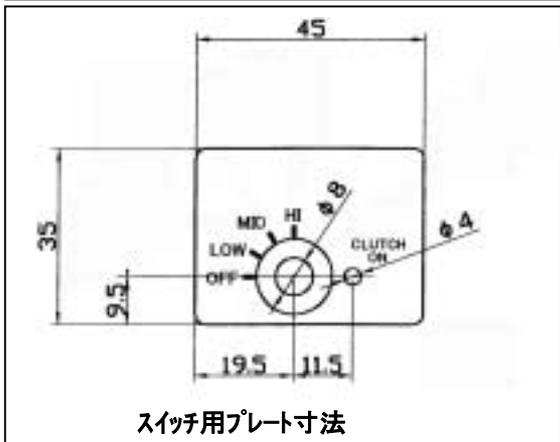
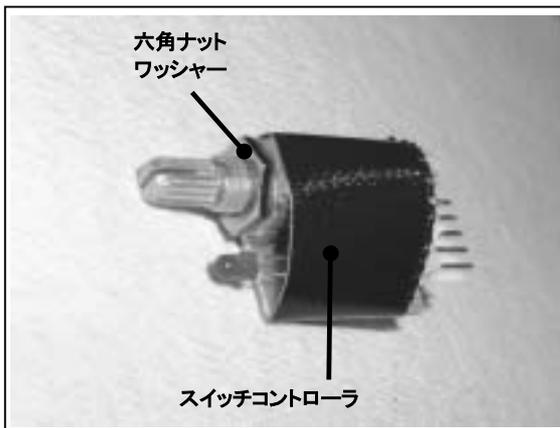
- (48) Vバンクカバーを取り付ける。
 * 一部ブラケット類と干渉する部分があります。左図を参考に干渉する部分の加工を行ってください。

- (49)カウルトップを取り付ける。
 (50)プレーキマスタシリンダリザーバを取り付ける。
 (51)ATケーブル、ジャンクションブロックASSYを取り付ける。
 (52)ワイパモータASSYを取り付ける。
 (53)カウルトップベンチレーターカバーを取り付ける。
 (54)フロントワイパを取り付ける。

[6]33.リレーハーネス、30.電磁クラッチ用スイッチ配線作業。

- (1)33.リレーハーネスのカプラーと1.コンプレッサー本体のカプラーを接続する。
 (2)33.リレーハーネスのリレー本体を適当な場所に固定する。
 (3)33.リレーハーネスの6mm丸端子をボディアースに、8mm丸端子をバッテリーに接続する。
 (4)33.リレーハーネスの青線を助手席室内に引き込む。
 注意. 配線類の皮膜には 36.Φ7コルゲートチューブを使用してください。





スイッチ用プレート寸法



(5) 32 スイッチ用プレート、31 スイッチコントローラ取り付け作業

注意 スイッチの取り付けには穴あけ加工が必要となります。

取り付け位置はお客様にご確認の上、加工・取り付けを行ってください。

① 31 スイッチコントローラの調節つまみ部の六角ナット及びワッシャーを取り外す。

② 31 スイッチコントローラを取り付ける場所に穴あけ加工する。

※穴寸法は、図をご参照ください。なお、取り付け部分の厚み等により、若干の寸法の調整が必要です。

③ あけた穴に、31 スイッチコントローラの調節つまみ部と赤色 LED を通し、表面保護シートおよび裏面剥離紙を剥がした 38. スイッチ用プレートを上から被せ、六角ナット・ワッシャーで固定する。

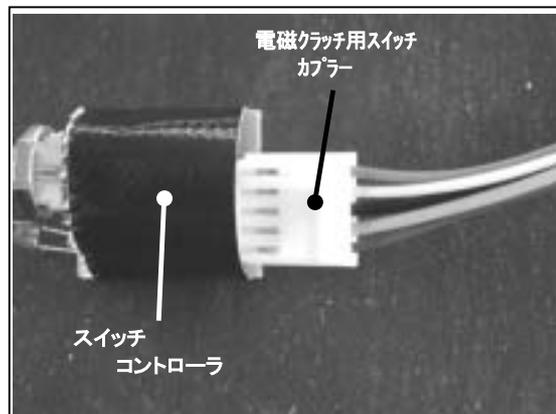
④ 31 スイッチコントローラのつまみ取り付け部を反時計回りに止まるまで回し、調節つまみのマークが OFF に合うように取り付ける。

※調節つまみを回し、プレート表記位置とつまみマークが合っていることを確認してください。

⑤ 31 スイッチコントローラのカプラーと、3 電磁クラッチ用スイッチのカプラーを接続する。

⑦ スイッチ類本体および配線類を、タイラップを使用して、固定する。

注意 高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。



(6) 34.フューエルコントローラー取り付け作業

① ECU 配線図に従って、34 フューエルコントローラー配線と純正 ECU 配線および 30 電磁クラッチ用スイッチの青線を接続する。

※ECUは助手席側グローブボックスの奥にあります。

※全て又取り配線です。

※配線の断線・接続不良には、十分注意して作業してください。

最悪の場合、エンジン破損の原因となります。

② 34 フューエルコントローラーを適当な場所に固定する。

③ 配線類を、タイラップを使用して固定する。

※高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。

④ グローブボックスを元のように取り付ける。

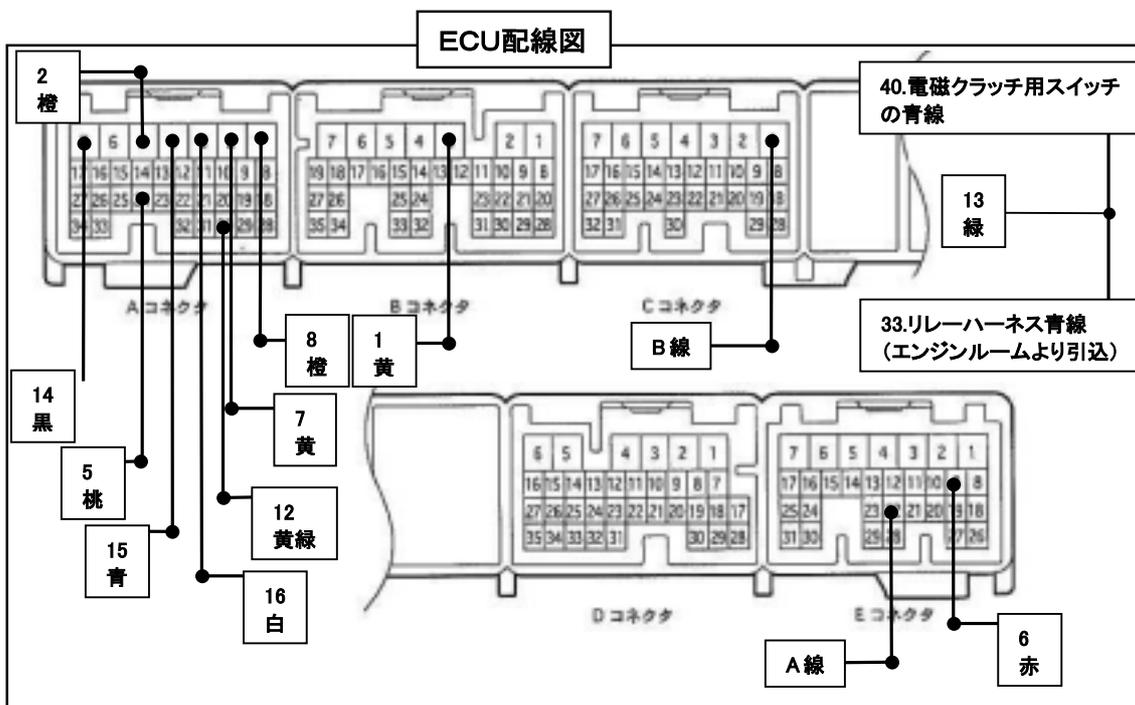
(7) 30.電磁クラッチ用スイッチの

黄線を、P23ECU配線図のA線に、

黒線を、B線に、

赤線を、イグニッションON電源線に、

青線を、室内に引き込んだ、33. リレーハーネスの青線と接続する。



34.フューエルコントローラーケーブル



34.フューエルコントローラーケーブル配置図

1 黄	2 橙	3	4	5 桃	6 赤	7 黄	8 橙
9 青	10 白	11	12 黄緑	13 緑	14 黒	15 青	16 白

* 34.フューエルコントローラーの 9.青、10.白線は接続しませんので、絶縁する。

(9) イグニッションキーをON、セレクトスイッチをLOW、MID、HIIにしてそれぞれの位置でアクセルペダルを踏み込み、途中でコンプレッサープーリーのクラッチがONになる事を確認してください。

※エンジンを始動しなくてもクラッチはONになります。

※スイッチコントローラー部LED(赤)の点灯及びエンジンルームコンプレッサー本体の電磁クラッチ部を確認してください。

(10) エンジンを始動し、アイドル状態状態で5～10分間放置する。

(11) エンジン始動状態でレーシングを行い、ベルトの滑りを確認する。

※ベルトが滑っている場合は各ベルトテンションの調整を行ってください。

※実走行でベルトの滑りが出ている場合も同様にベルトテンションを調整してください。

(12) 同様にエンジン始動状態でレーシングを行い、36.フューエルコントローラーの側面に付いているLED(赤)の点灯を確認する。

※電磁クラッチONの条件でフューエルコントローラーが作動(LEDが点灯)します。

※LEDが点滅または点灯しない場合は配線の不良・間違いが考えられます。

再度配線の確認を行ってください。

注意事項

- ・ 点火プラグは必ず熱価の高いものに交換してください。
- ・ ガソリンは必ずハイオクガソリンに入れ換えてください。
レギュラーガソリンが残っている場合はコンプレッサーの電磁クラッチをONにしないで走行してください。(セレクトスイッチOFF位置)
何度か給油し、燃料タンク内のガソリンが完全にハイオクガソリンになってから電磁クラッチをONにして走行してください。

注意 レギュラーガソリンで電磁クラッチをONにして走行するとノッキングを発生させ、エンジン破損の原因になります。

- ・ ギア位置がパーキング・ニュートラル・リバースの時は電磁クラッチをONにしないでください。(セレクトスイッチOFF位置)
(上記ベルトの滑りの確認、フューエルコントローラーの作動確認の場合を除きます。)
- ・ 純正触媒の取り外しは絶対に行わないでください。
- ・ 燃料コントローラー等、キット付属の部品以外の装着は絶対に行わないでください。

以上で、本キットの取り付けは終了です。

取り付け後の確認

■ エンジン始動前の確認

- ・ パイプ、ホース等配管及び配線に間違いがないか確認してください。
- ・ ボルト、ナット類の締め忘れがないか確認してください。
- ・ ガソリンはハイオクガソリンが入っているか確認してください。
- ・ 点火プラグが熱価の高い物に交換されているか確認してください。
- ・ 本キット以外の部品(点火プラグ以外)が装着されていないか確認してください。

■ エンジン始動後の確認

- ・ コンプレッサー、エンジン本体から異音等がないか確認してください。
- ・ 軽く空ぶかしをおこない、Vベルト、コンプレッサー等に異常がないか確認してください。(ベルトのスリップ、歯とび)
- ・ 冷却水、燃料、オイル等の漏れがないか確認してください。

メンテナンス

快適に運転していただく為、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。
尚、本キットを取り付けた後に維持、管理する項目については必ず実施してください。

■ コンプレッサーキット装着時の維持、管理項目

- ・ エンジンオイルの定期的な交換(推奨 5000Km以内で交換)
- ・ エンジンオイルフィルターの定期的な交換(推奨 10000Km以内で交換)
- ・ ハイオクガソリンの使用(レギュラーガソリンは絶対に使用しないでください)

※キット付属の専用ハイオクステッカーを給油口内側に貼り付ける事をお勧めします。

■ Vベルトのメンテナンスについて

本コンプレッサーキットでは、Vベルトを利用しコンプレッサーを回転させ、過給を発生させていません。定期的にVベルトの点検・張りの調整を行ってください。

- ・ Vベルトの点検・張りの調整 推奨5000kmで点検・調整
※Vベルトは、新品初期に一番伸びる特徴があります。新品Vベルトを取り付けた際500km以内で、張りを調整して下さい。
- ・ Vベルトの交換サイクルは車両の状態・運転の状況により異なります。Vベルトにヒビ、亀裂、歯とび等の劣化が確認された場合は交換をお勧めします。
※Vベルトの点検・張りの調整を行わない場合、Vベルトがスリップしてしまう事があります。Vベルトがスリップしている状態ではコンプレッサー本来の性能を発揮できない場合があります。
- ・ ベルトがスリップしている状態での走行は行わないでください。
※Vベルトがスリップしている状態で走行を続けると、Vベルト表面がすれてしまいベルトのテンションを調整してもスリップが止まらなくなる恐れがあります。
テンションを調整してもスリップが収まらない場合はVベルトを新品と交換してください。

推奨パーツ

- ・ プラグ BLITZ Iridium Spec77 T7340B-6 及び 7 コードNo. 14436/14437
- ・ Vベルト(6PK705) コードNo. 10169-015
- ・ Vベルト(6PK1825) コードNo. 10169-016

●製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせは、お電話またはFAXにて下記宛てにお願いします。

■連絡先 (株)ブリッツ

■TEL 0566-79-2200

■住所 愛知県安城市高棚町大道40-1 ■FAX 0566-79-2070

製造・発売元	株式会社 ブリッツ
取扱説明書番号	10169004
初版作製年月日	2006. 10. 1

BLATZ